

サステナビリティレポート2026 編集方針

発行目的

当社グループは、サステナブルな経営の実現に資するために、以下の目的に基づいてサステナビリティレポート2026（以下、本レポート）を発行します。

- ① **説明責任の遂行**: 共創共生の姿勢を持つ企業グループとして、事業を通じた社会・環境への貢献と負荷低減について説明責任を果たします。
- ② **適切な社外評価の獲得**: 企業評価機関、長期投資家、NGO、有識者など、企業のESG（環境・社会・ガバナンス）全般について特に関心の高いステークホルダー（利害関係者）からの要請をふまえた情報開示を行います。特に、企業評価機関のESG評価項目は「国際社会やステークホルダーの期待・要請を集約したもの」と捉え、適切な評価獲得を目指します。
- ③ **経営改善への活用**: 経営におけるPDCAの「外部チェック」の一つとして、本レポートをもとにしたESG評価や対話での指摘事項を社内にフィードバックし、改善につなげます。

基本情報

報告媒体

〈日本語版〉と〈英語版〉を、PDFにて発行しています。

報告対象組織

大和ハウス工業を中心に大和ハウスグループ全体（2026年3月31日時点、連結子会社507社）について報告しています。

報告対象期間

2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）を基本としていますが、必要に応じて2024年度以前・2026年度以降の活動内容も掲載しています。

誌面の構成・掲載内容

本レポートは、「特集」「実践報告」「データ集」で構成しています。トップメッセージ・役員メッセージなどは、統合報告書（2026年9月発行予定）に掲載します。

【特集】P003～P008

「大阪・関西万博」における当社グループの強みの発揮と、未来に向けた挑戦を特集しています。

【実践報告】P009～P146

持続的な経営基盤の構築を推進する体制や取り組みについて、カテゴリや重要テーマごとに「方針・考え方」「マネジメント」「主な取り組み」を整理し、体系的に報告しています。

【データ集】P147～P203

ESGに関するパフォーマンスの詳細データを掲載しています。また、環境行動計画、社会性行動計画の実績・自己評価についても報告しています。

発行日

日本語版: 2026年7月 英語版: 2026年9月（予定）
（年1回発行、次回発行予定: 2027年7月）

参考にしたガイドライン

- ・GRIスタンダード（最新版適用）
- ・国際標準化機構「ISO26000（2010年版）」
- ・環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」
- ・経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」（2022年）
- ・TCFD最終提言（2017年）
- ・TNFD最終提言 v1.0（2023年）

コミュニケーションの全体像

